

1982 (毎月1回) 発行
7月号

(村の面積)

332.60km²

発行所 福井県大野郡和泉村

広報

いずみ

(昭和57年6月1日現在)

村の人口	
総人口	1,414人
男	710人
女	704人
出生	5人
死亡	2人
転入	3人
転出	11人
世帯数	448世帯



開票結果を待つ参観人

和泉村議会議員選挙

みんなで越美北線を利用しよう!

いずみ村の将来 どうしたらいいのだろうか

論文募集 8月20日まで

昭和三十年代からの我が国経済の高度成長は農山村の若者を都市へ流出させ、過疎現象といわれる種々のひずみをひき起こした。本村においては、時を同じくした九頭竜川電源開発事業によるダム建設と相まって、村の人口は半減した。

人口流出防止のため、歴代の村長が苦勞を重ね、住みよい村づくりの努力がなされてきました。こうした努力にもかかわらず減少の一途をたどり、四月一日現在の人口は千四百二十五人となっております。しかも村内の世帯を

ますと、若い者は都会に就職して村には中年以上の夫婦だけという世帯が増えており後継者の確保などについて抜本的な対策が必要となっております。

村では、こうした現状をふまえて、今春より産業振興調査会を発足させて本村に適合した産業の調査研究などを進めておりますが、和泉村の将来について、村民の皆さんがどのように考えているかを承知するとともに今後の村づくりの参考とするため、「二十一世紀にむけて和泉村はどうあるべきか」のテーマで村民の皆様より広く論文を募集することにいたしました。

村民各位の英知を結集して過疎をくいじめ、住みよい活力ある村づくりをしていきたいと思っておりますので、皆さんのご協力をお願い申し上げます。

(1) 題目 「住みよい活力ある村づくり」論文募集要領

(2) 〆切 昭和五十七年八月二十日

でに役場総務課宛送付してください。

(3) 応募資格

村内に住む方ならどなたでも結構です。

ただし、審査員の投稿は選外といたします。

(4) 原稿内容

自由、四百字詰め原稿用紙五枚程度

(5) 審査

審査会にて審査

● 審査委員

- 村長
- 副議長
- 議 長
- 副議長
- 総務常任委員長
- 文教厚生常任委員長
- 産業土木常任委員長
- 助 役
- 福井県地方課長
- 朝日中学校長
- 和泉村産業振興調査会長

(6) 発表

広報「いずみ」及び発表会

(7) 入選

最優秀 一点 賞金五万円
優 秀 一点 賞金三万円
佳 作 三点 賞金二万円
他に選外佳作五点到記念品を贈呈し、応募者全員に粗品をさしあげます。

和泉村議会議員選挙 吉川氏ら十二名決まる

任期満了に伴う村議会議員選挙は七月四日、村内五カ所の投票所で一せいに投票が行われた。

次いで午後八時から中央公民館で即日開票され、約二百人の参観人が見守るなかで、午後九時半には、各候補者の得票数が確定し、十二名の新議員が誕生した。

和泉村議会議員 選挙開票結果

(敬称略)

	当日の有権者数			投票者数			棄権者数			投票率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
合 回	529	531	1,060	505	513	1,018	24	18	42	95.46	96.61	96.04
57年7月												
前 回	630	635	1,265	620	610	1,230	10	25	35	98.41	96.06	97.23
53年7月												
前々 回	679	679	1,358	634	644	1,278	45	35	80	93.37	94.85	94.11
前々々 回												
49年6月												

当 一	当 二	当 三	当 四	当 五	当 六	当 七	当 八	当 九	当 十	当 十一	当 十二	
吉川 基	桜川 義夫	原田 時彦	三嶋 藤市	竹田 津喜夫	木嶋 政雄	登 久 男	谷 義 明	田村 重次郎	三嶋 利夫	三村 登治	吉村 外治	青野 章
無現 62	無現 55	無現 48	無現 57	無現 49	無現 57	無現 49	無現 58	無現 64	無現 56	無現 47	無現 56	無現 42

投票総数	有効投票数	無効投票数	投票率
一、〇一八票	一、〇〇九票	九票	九六・〇四%

化石がもたらす文化の交流

——中国と和泉村が湖でつながっていた？——

顧知微博士(中国)と前田四郎博士(千葉大教授)が来村して証明



調査団一行

後野ほうきに出土する貝の化石と中国の浙江省(せつこうしよう)で発見された貝の化石が全く同じであることが、六月九日本村を訪れた、中国の顧知微(グーズイウイ)博士と前田四郎博士の合同調査によって明らかにされました。

両博士の交流は、前田博士が昭和三十八年に勝山市の中野俣でトリゴニオイデスと呼ばれる淡水性の貝の化石を採集し、中国の学界に紹介したところ、中国の科学院(日本の文部省にあたる)南京地質古生物研究所教授の顧知微博士から中国の浙江省でも同じものが発見されているとの返

事が届いたことから始まりました。

トリゴニオイデスとは、今から約一億年前の中生代白亜紀のころ、淡水に生息していた二センチぐらいの小型の二枚貝のことです。

後野ほうきに出土する化石のカキもそのころ、海と湖の境めあたりに生息していたといわれ、これと全く同じものが中国に発見されていることから、白亜紀のころ、今の富山、石川、福井、岐阜の四県にまたがっていた古手取湖が地かくの変動により、あるときは海に、あるときは湖に浮いたり、沈んだりしながら中国にまで大きく広がっていたらしいこと、さらに、智那洞谷の硅質砂岩(オオソコツワイト)に中国本土の硅石(俗にいう火打石)が、直径二三センチの丸石となって含まれていることの発見から、かつての古揚子江や古黄河が日本にまで流れこみ、日本列島

に影響を及ぼしていたのではないかと。想像しただけでも楽しくなるようなことがこの度の調査で学問的に裏づけされました。



後野ほうきで採集された化石

この日顧博士は、午前中の調査活動を終えてから、明日をひらく力づくり教育研究推進指定校の朝日中学校で食事をとったあと、郷土探究活動として、化石研究に取り組む生徒たちに、同行の富紀子(二十四歳)さんを通訳にして一時間にわたり講演をされました。

講演の中で同博士は、大陸と和泉地域との関係をわかりやすく楽しく説明するとともに、

「学問というものは、終わりはなく、次々と新しい発見があるし、これからは広い視野にたって両国が協力し合ひ、歴史を解明しなければならぬ」と交友を説かれた。同校では、七月二十六日植物中心の郷土探究を予定しているが、同博士の講演をきいてからは化石熱が一段と増し、化石調査を望む声が高まりつつあると、先生たちは話している。

それから通訳の富さんは、現在福井市に在住する中国二世の近代的美人。流暢な日本語で、むずかしい専門用語の多い岩石について、幅広い知識と豊かな教養で巧みに通訳し、生徒たちには大変魅力的でした。

この度の顧博士の来村は、和泉村の地層を学問的に解明し、世界に広めた前田博士の功績によるところが大きい。和泉の地層については、まだまだ、などの部分が多いといわれ、今後日中共同研究がさらに進むことによって、化石を通じ、和泉村と中国との文化交流の幕あきが期待できそうです。

勤めをやめたら国民年金へ

六十歳前に会社や役所などを退職した人は、その翌日に国民年金に加入しなければなりません。もし、奥さんがまだ国民年金に加入していなければ、ご一緒に手続きしてください。

それには、ご主人が印鑑と年金手帳を持って、役場年金係へ出向けば、簡単に手続きが済みます。

こうすると、今まで加入し

俳句・短歌コーナー

〈俳句〉

一、人見るも 見なくも野辺の あざみ花 水 蓮

◇修学旅行にて(朝日中)

一、慰霊堂 鳩がないて なくさめる

(東京の慰霊堂)

一、大仏や 五月雨の中 どっしりと

(鎌倉の大仏)

一、後樂園 五月の夜に 球が舞う

一、夏富士や 仰いでみる 汽車の窓

一、大空や 十国峠に 若葉風

一、五月晴れ 東京の暑さ 身にしみる

〈短歌〉

一、四十年余も 過ぎし今なほ 亡き実母は 心に生きて 吾を諭せり

合 掌

ていた年金と国民年金の加入期間とがきちんとつながり、まちがいはなく老齢年金または通算老齢年金が受けられます。もし、この手続きを怠ると年金を受ける資格期間を満たしていない人の場合は、掛けた保険料が掛け捨てになって一生後悔することになります。

昭和五十七年度

自衛官採用中

自衛隊では昭和五十七年度の二等陸海空士の自衛官を募集しています。受験資格および待遇などは、次のとおりです。

国民健康保険の

届出を忘れずに

あなたが会社などのお勤めをやめられたときとか、あなたの扶養者(配偶者、父母など)の扶養認定が取り消されたときは、必ず国民健康保険へ加入の届出をしましょう。届出がないと、国民健康保険による保険診療は受けられせん。

す。

◎応募資格

十八歳～二十五歳未満

◎身分保障

特別職国家公務員

◎待遇

①初任給 九六・二〇〇円

②ボーナス 年四・九

相談は………役場総務課へ

献血にご協力を!

八月六日実施

○人を助け自分を助けるために愛の献血を
○八月六日(金)朝日・上大納地区で実施

人のうごき

▼赤ちゃん誕生

朝日 小畑 優歩敏彦の長女

朝日 高見美由紀英三の長女

下山 東 拓也 三千雄の長男

上大納 石川 正美 勝久の長女

上大納 相川 雄太 良雄の次男

優歩ちゃん

拓也ちゃん

美由紀ちゃん

正美ちゃん

▼死亡

上大納 辻 善久(56歳)

上大納 相川 雄太(0歳)

NO170 水んざい

朝から快晴 ほんとに梅雨? 福井市で31.3度